

接尾辞「状」の意味・用法についてー「ガタ」との比較を中心にー

パトリック・パーマー

福岡大学大学院生

1. 研究目的

漢語接尾辞「状」は「釣り鐘状の花」のように、主に名詞に下接し、「形・物質」の意味を添加する用法がある。これと似た機能を有するのは、和語接尾辞「ガタ」（形・型）である（「釣り鐘型の花」）。これらの例から分かる通り、「状」と「ガタ」は意味・用法が重なり合う関係にあるが、共有する意味領域もあれば片方のみが用いられる場合もある。

- (1) a. 人間型 (?状) ロボット / パンツ型/(?状)オムツ / 洋梨型(?状)肥満
- b. その眼に見える副作用として、歯茎がイチゴ状[?ガタ]の赤いブツブツをあらわして腫れた。 (*OB4X_00306, 22730) *BCCWJ データのサンプル ID と開始位置

本稿は「状」に注目し、「ガタ」との比較を通して意味・用法の記述を試みる。

2. 先行研究（接辞研究）

2.1 接辞性の認定

本稿は漢語接辞の研究の流れに従い「状」を接尾辞と捉えている。一般に、「接辞」と「複合語」との違いは以下の要素に左右されている（水野 1987）。

- (2) a. 結合形式（単独で用いられない要素）が自由形式（単独で用いられる語）に付く
→ 「状」は単独で用いられる用法もあるが、「形・物質」を表して単独で用いられない
- b. 付加により自由形式に意味を添加したり文法的性格を決定したりする機能を持つ
→ 「状」はその付加により意味を添加し形容動詞的な振る舞いを決定する

「状」が二字漢語の後部要素である場合、接尾辞とみなさない分析も可能である。しかし、「粒状」には「リュウジョウ」の他に「ツブジョウ」（自由形式+状）という読みもあり、「針状」や「带状」などの類例が多いため、こうした二字漢語も調査対象とする。

2.2 接尾辞「状」に注意すべき側面

漢語接辞の研究において以下の(3)～(6)はよく取り上げられている課題である。

- (3) 品詞性 接辞の付加によって語基の品詞性を決定するかどうか
- (4) 結合関係 接辞はどのような語と結合可能なのか
- (5) 造語力 接辞が自由に様々な語基に付き新しい語を作り出す能力
- (6) 意味の面 接辞が付加する意味は「形式的」なのか「実質的」なのか、等々

本稿は意味の面に注目して調査を行うが、(3)～(5)も分析に関わるため以下に見ていく。

- (3) 品詞性 「状」はどの品詞に付加し、その付加によりどのように変わるだろうか。

接辞が付加する語基は体言、用言、相言など、いくつかの種類に分類できる（水野 1989）

- a. 「状」・「ガタ」は「形状」の意味を添加する場合は一部の例を除き「体言類」に付く
→ 例外 「流動状食品」（用言類）「どろどろ状」「中細型」（相言類）

- b. 付加後の品詞性は、野村(1978)は「状」を「的」「風」「式」などと同様に「相言型」に分類した。これらは結合形式全体を形容詞の語幹相当のものに変換し、「な」か「の」を

伴って体言を修飾し、「に」を伴って用言を修飾することが多いと指摘している。

c. 「状」・「ガタ」はいずれも体言に付加し、「の」を伴って名詞を修飾したり「に」を伴って動詞を修飾したりする点で品詞性も似ている。個々の意味が「の＋名詞」「に＋動詞」パターンの分布と共起する語に反映されていると推測できるため、後で調査する。

(4) 「状」・「ガタ」の語基との結合関係 - 語種による制限の有無について

漢語接辞は和語より漢語の語基を好む場合がある(森田 1989:48、Kobayashi et al. 2016: 126 等)。「状」・「ガタ」は共に和語(釣り鐘状/型)、漢語(瓢箪状/型)、外来語(リング状/型)につく事実から判断すれば語種に厳しい制限はないと言えるが、もしどちらかに偏りがあれば、不均衡な比較になるため、まず調査する必要がある。

(5) 「状」の使用頻度・造語力について

国立国語研究所「現代雑誌 200 万字言語調査」「度数順語彙表(自立語)」

状[状態]: 1889 位 ケイ(形) 2733 ガタ[型・形]: 235 位 (cf. 的: 44 位 風: 523 位)

→「状」は代表的な相言類の接尾辞より使用頻度が低く、「形を表す」「ケイ」に比較して使用頻度が高い。対して「ガタ」は 235 位と使用頻度が高い。

(6) 意味の面について

a. 山下(2018) 字音接辞(漢語系接辞)の意味による分類

「状」は「様相」の意味分類に(「状態や性質を含意するもの」: pp. 227) その成員は:
流線型 連体形 テترون混 回転式 筋肉質 心配性 ケロイド状 アルカリ性 紳士
然 動資源態 日本調 家庭的 就職難 学者風 のこぎり様 秘密裏 自己流
この中で、特に「様」「型」「形」は「状」に近い

b. 意味の広がりについて

- 「ガタ」は「形状」から「タイプ」まで広がっている
涙形(形状) ケーキ型(鋳型) 夜型人間(タイプ) 血液型(排他的タイプ) .
- 「状」は主として物理的様子を表すが、意味的柔軟性がある
蒲鉾状の屋根(形)・鮫肌状の手触り(質感)・更地状住宅用地・音声状信号

2.3 「状」と「ガタ」の歴史の面

本稿は「状」・「ガタ」を共時的に分析するが、以下の2点を視野に入れたい。

①「状」は古典に出るが、読みと用法は様々で現代語同様の用法は見られない(戸谷 1987)

② 松井(1987) 朱(2011)の翻訳書・蘭学資料の調査結果を参考にすると、「状」は学術用語の要素として明治期に流入し、語構成要素として現代語に受け継がれたと推測できる

3. 調査方法・調査結果

3.1 調査方法

以上で概要した接尾辞用法の「状」と「ガタ」の現代語における生産性、結合関係、意味的領域を調べるため、現代日本語書き言葉均衡コーパス(BCCWJ)で調査を行った。「書字形出現形」を「状」に設定し、「品詞」などのキー条件を加えず全ジャンルに対して調査した。接尾辞「状」の抽出した7,245例のうちから「年賀状」のような用法を除外し、3,895

例を調査対象とした。「ガタ」(形・型)は「語彙素読み」を「ガタ」に設定し検索を行い、抽出した 23,187 例のうちから「状」と同様の用法の 2,236 例を調査対象とした。

3.2 構文の分布

上述の通り、「状」と「ガタ」は「の」を伴って体言を修飾したり、「に」を伴って用言を修飾したりすることがある。その構文パターンは当該接尾辞によって偏りがあるかを確認するため、それぞれの構文の頻度を調べた。結果、「X 状の Y」と「X ガタの Y」はそれぞれ全体の 38%と 31%を占め、大した差ではなかったが、「X 状に V」と「X ガタに V」は 34%と 12%であり、かなりの差が見受けられる。

表 1 BCCWJ における「状」と「ガタ」の構文の分布

構文	例数	構文	例数
N 状の Y	1,482 (約 38%)	X ガタの Y	682 (約 31%)
X 状に V	1,312 (約 34%)	X ガタに V	275 (約 12%)
計	2,794 (約 72%)	計	957 (約 43%)

「ガタ」は約 43%の例のみがいずれかの構文に当てはまる。その残りは複合語(「蛇腹型カメラ」)や名詞述語(「X はロボット型」)などに広く分布している。

3.3 語種・生産性

次に語種と生産性に注目し、「X 状/ガタの Y」の X の部を調査した。結果は表 2 である。(「n1」の欄は、コーパスにおいて一回しか出現しない語数を示す。)

表 2 BCCWJ における「状」と「ガタ」が付加する語の語種

X 状の X	延べ	異なり	n1	X ガタの X	延べ	異なり	n1
漢語	680	186	108	漢語	156	63	35
和語	335	173	109	和語	176	98	74
外来語	412	172	104	外来語	219	73	50
混種語	55	29	21	混種語	131	32	18
合計	1,482	560	342	合計	682	266	177

3.4 「X 状/ガタの Y」の X について

このように、「状」と「ガタ」の両方は語種を問わず様々な語基に付加し、生産的な接尾辞であることが分かった。そのため、二者の使い分けは語種制限ではなく意味の側面に左右されている可能性が高いと思われる。次に、個々の意味的領域の異同を確認するため、「X 状/ガタの Y」の X の部分を抽出し、「状」と「ガタ」共通のもの、「状」か「ガタ」の片方のみが付加するものの三種類に分けた。各種類の上位 15 語まで表 3 にまとめた。

表 3 「X 状/ガタの Y」- X の部分 (括弧内の数字は出現回数を示す)

共通	ピラミッド(6, 27) アーチ(8, 25) 螺旋(1, 24) -字(4, 116) ドーム (16, 19)
左「状」	かまぼこ(3, 16) 円筒(23, 9) 釣鐘(6, 16) ドーナッツ(16, 5) 液体(16, 1) 三日月(3, 9)
右「ガタ」	短冊(9, 9) 紐(13, 1) らっぱ(3, 5) 円柱 (12, 3)
「状」	筒(36) 袋 (26) ゼリー(25) 階段(20) 格子(15) 放射(15) スポンジ(13) ペースト(13)

のみ	播鉢(13) 粉末(13) 渦巻き(12) クリーム(11) シート(10) 網目(10) 鱗(10)
「ガタ」のみ	ハート(27) 流線(22) ビン(14) きのこ(8) 中細(8) タワー(5) ペンシル(5) 対称(5) 十字架(4) ズン胴(4) 馬蹄(4) くさび(4) スクエア(3) ティアドロップ(3) バケツ(3)

注目すべきは、「状」・「ガタ」共通のものでも、意味に違いがあるという点である。

→ 瓢箪型の混浴露天風呂 ??瓢箪状混浴露天風呂

3.5 「X 状/ガタの Y」の Y について

「X 状/ガタの Y」の Y の部分も同様に調査した。上位 30 語を表 4 にまとめた。

表 4 「X 状/ガタの Y」- Y の部分

「X 状の Y」- Y の部分	「X ガタの Y」- Y の部分
もの 花 部分 鉛 地形 雲 物質 形 穴 口腔 突起 かたまり 構造 ところ 石 突起物 板 皮 膚 模様 の (形式名詞) 衛星 液体 器 空洞 土地 病変 放射性廃棄物 グラフ 陰影 煙	もの 食道 花 屋根 建物 デザイン ほう 金具 場合 組織 葉 テーブル ピアス 穴 構造 構造物 紙 乳 房 歪曲 カウンター チョコレート デスク フォル ム ロボット 海岸景観 曲線 形 溝 瞳

(7) 「状」: Y の位置に来る語は無定形のものが多い。動きや特性を表す場合もある

a. (動き) ワイパー状の動き 放射状の動き 囊状の拡張

cf. V 字型の動き V 字型の波動 ドーナツ型の人口増加 - 富士山型の人口増加

b. (性質) ガラス状の光沢 コールタール状の黒さ ビロード状の艶

3.6 個々の接尾辞が付加する語の異同

(8) 「ガタ」は生き物、機械などに付加でき、「状」は付加しにくい

魚形の皿 人間型ロボット 飛行機型チョコ タコ型風

(9) 「状」は形状でなく質感や状態が特徴のものに付加でき、「ガタ」は付加できない

液状 クリーム状 スポンジ状 ピュレ状 カラメル状

4. 結果に基づいた意味・用法に関する考察

4.1 「状」の意味的特徴

接尾辞「状」の辞書的記述には「外面に見える形。姿」がある（日本国語大辞典 小学館）。

例：釣り鐘状の花 葉巻状の宇宙船

外面に見える形のみならず、触覚に根差した意味を添加する例もある。

(10) 花自体は、濃赤色のシャクナゲに似た花が咲きます。薄くて、ゼラチン状のぬるっとした肌触り、あまりにも薄く、潮流があると、破れてしまい、咲く事は出来ません。

(OY14_06551, 920)

なお、「状」は触覚に関わる擬態語や動詞と連動して、「触覚」「動き」と緊密に関係する性格を見せる。

(11) 私たちがなにかものを食べると、それは胃のなかでどろどろのカユ状になり、それから小腸にはいる。(OB1X_00281, 14620)

(12) 十四、五メートルもの高さの甲板から飛び降りた勢いで、達巳は海中深く突き刺さり、クルクルときり揉み状に沈んでいった。(LBg9_00155, 9100)

4.2 本稿における「状」の捉え方

(13) a. 基本義: 視覚・触覚を通して捉えた事物の物理的様子を表し、その内部構造から外部構造までの状態が含意されている。

傷がかさぶた状になる たまごを半熟状に火を通す カット状のトマト

比喻によりその「様子」が部分的に写像されていくこともよくある。

釣り鐘状の花 (形状) コンクリート状の凍土 (質感) 海綿状の病変 (中間)

b. 形状・質感、どちらの面を表すかは付加する語基及び修飾する語の性質で決定

c. 「状」が添加する意味は「形状」か「質感」かという二者択一ではない。様々な中間段階がある: (形状) 円形状… (中間) 鎌状の登攀器具・スポンジ状… (質感) 半練り状…

4.3 形状と質感の意味関係について

以下の二点を理由に、視覚に根差した「様子」の意味をプロトタイプとし、その様子から触感を推理するプロセスが触覚に根差した「質感」への意味派生を動機づけると考えられる。

(14) a. 外の形を表す用法が最も多く、触覚に関わる例は比較的少ない。 (「形」は 2,836 例「状態 (物質)」は 932 例、そしてより抽象的状态 (例えば「湿地状の土地」) は 79 例)

b. 「固形状」などの例を除き質感・触覚に関わる例は全て何等かの点で視覚特徴がある。

4.4 「ガタ」の意味的特徴

(15) a. 「ガタ」は形状自体を表すか、その形状が分類基準となっている「タイプ」を表す。

(その境界線は必ずしも明確とは限らない)

→ 釣り鐘型の花 (形状) パンツ型オムツ・人間型ロボット 血液型 (タイプのみ)

b. 他との対比を含意する 洋梨型の体型 - リンゴ型の体型 - バナナ型の体型

c. 形状を表す場合でも「状」よりもスキーマ化されている「形」を表す

4.5 この「状」「ガタ」の捉え方により、次の現象が意味の面から説明できると思われる。

(16) 「状」は生き物や機械に付きにくい (??人間状のロボット ??キリン状の玩具)

→ 付加する語基は「形」を明確に表すものでない限り「状」は質感まで含むイメージを作るが、「人間」や「キリン」は形の喩えとして認識されにくい (cf. 蒲鋒、弓、三日月等々)

(17) 「状」は「ガタ」より副詞的・結果構文的に用いられる (表 2 を参照)

→ 「ガタ」は主として表面的な形を表すため、表面以上の側面に関わる場合意味的制限がかかる。例: (18) では、「テント」の外形が文に内在している立体的イメージと衝突する。

(18) 癌は、門脈本幹を背側からテント状[/?ガタ]に押し上げている。(PM31_00275, 12900)

「状」はその制限はなく、質感も動きも含まれているため、より広く物質の状態変化を表せる

(19) 溶き卵を 4 に流し込んで、大きくかき混ぜながら半熟状に火を通し、うなぎのたれと薄口しょうゆで調味します。(LBm5_00054, 20760)

5. 「形」を表す接尾辞とイメージ・メタファーの関わり

5.1 「ガタ」「状」はその不在によってイメージ・メタファーをなすことが多い。

鍋島 (2011) はイメージ・メタファーを次の通り定義する。

「形状など感覚的類似性に基づいた同感覚内（視覚から視覚など）のメタファーである」
例）白魚の指（視覚から視覚） 蟬時雨（聴覚から聴覚）

5.2 メタファーは言葉の上で比喻であることを明らかにしないため、「状」や「ガタ」は、「ヨウナ」などと同様に比喻表現であることを明示する直喩標識の一種といえる

5.3 「ヨウナ」「ポイ」とは違い、これらのマーカーは A と B との間の類似点をより詳しく特定する。→ 星型のチョコ（視覚） ビロード状のチョコ（視覚＋質感）

5.4 これらの接尾辞の意味を突き止め、比喻との関わりを検討することが今後の課題である。

6. まとめ

(20) a. 「状」と「ガタ」は共に生産性の高い接尾辞である。（コーパスデータによる調査）

b. 「ガタ」は「タイプ」の意味的な広がりがある一方、「状」は触感も含意される。この違いは、二者が付加できる語基に大きな影響を及ぼす

c. 重なり合う利用環境は部分的であり、意味的な違いも伴う

d. これらの接尾辞はイメージメタファー・直喩によく用いられており、その研究領域に寄与できるものと思われる

【引用参考文献】

国立国語研究所（2006）「現代雑誌 200 万字言語調査」公開版 ver.1.0.

Kobayashi, H., Yamashita, K. & Kageyama, T. (2016) “Sino-Japanese words” in *Handbook of Japanese Lexicon and Word Formation*. 93 – 131. Mouton De Gruyter.

朱京偉（2011）「蘭学資料の三字漢語についての考察：明治期の三字漢語とのつながりを求めて」『国語研プロジェクトレビュー』 国立国語研究所 4 (1): 117 – 141.

戸谷高明（1987）「古事記表現論「状」の用法」『学術研究国語国文学』早稲田大学 36: 1 – 12.

鍋島弘治郎（2011）『日本語のメタファー』くろしお出版.

野村雅昭（1978）「接辞性字音語基の性格」『国立国語研究所報告 61 電子計算機による国語研究IX』102-138. 国立国語研究所.

松井利彦（1987）「漢語の近世と近代」『日本語学』6 (2)（特集・漢語）: 25-36. 明治書院.

水野義道（1987）「漢語系接辞の機能」『日本語学』6 (3)（特集・漢語）: 60 – 69. 明治書院.

森田良行・村木新次郎・相沢正夫（1989）『ケーススタディ日本語の語彙』おうふう.

山下喜代（2013）「現代日本語における漢語接辞研究の概観」『青山語文』（大上正美教授退任記念号）青山学院大学日本文学会 43-03: 157 – 68.

山下喜代（2018）「字音形態素のカテゴリー化—接辞を中心にして—」『青山語文』青山学院大学日本文学会 48-03: 217 – 28.

【使用データ】

国立国語研究所 現代日本語書き言葉均衡コーパス（中納言）2.4.5 データバージョン 2020.02
<https://chunagon.ninjal.ac.jp/>